

長雨集

高田浪士進

改頁

二段組

二段分

415

42

檻の上に銀毛黒狐みじろかずうつくまゐるはな
くはしきのも 樺太にて養狐場を見る
こぞかしと眼みはルリ仔狐は大に育くまゐしと
こそ聞け
尿して檻にのかるる仔狐のふるまひおかし遠の
き見つる

書籍など賣りて凌ぎし去年思へば相場によりて
わづか富みたる

朱ふりし橋を渡せる谷川くよどめる淵は樹の間
にみゆる

かとうあけに

山風はすでに秋づう登り路の秋の小花に露しと
ぐあり

山めさて作れる路のかたかげに秋の庭葉は風に
ゆれ揺る

451

No.